

# 平成29年度 自己チェック 報告

※保育教諭の資質向上の為、チェックを厳しくしております。

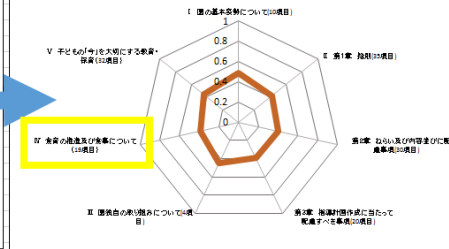
## 食育の課題点

- ・職員間の連携(保育と給食室)
- ・食育計画の見直し
- ・子どもの発達年齢に合った「食育」活動の実践
- ・職員自身の研鑽

平成28年度 評価



平成29年度 1回目



## 食育の具体的な取り組み

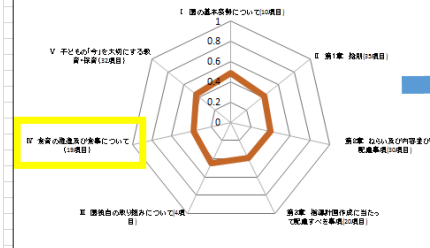
- ・講師を招いての研修実施(全職員対象)
- ・年齢別の「食育計画」の策定(見直し)
- ・実践活動の充実
  - ・野菜に触れる(栽培・収穫・クッキング)
  - ・視覚教材の活用(ペープサート、食育カード遊び)
  - ・離乳食会議の実施(0歳児担当と給食員)
  - ・園児と給食員の関わり(日々の配膳、一緒に食べる、話しをする)

個人差はあるが全体的数値としては徐々に上がりつつある

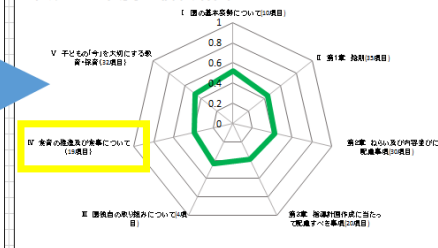
## 今後の課題

- ・食事環境の見直し(ランチルーム、各教室)
- ・食事マナーの見直し
- ・職員の自己研鑽
- ・3歳未満児の「食育」について(具体的な取り組み)

平成29年度 1回目



平成29年度 最終結果



## 食育の具体的な取り組み

- ①「楽しい食事」「食を楽しむ」ことを1番に考える
- ②食事マナーの見直し

- ・教材の充実化(実物に触れる、絵本、ペープサート、遊びのコーナー等)
- ・食事環境の見直し
- ・配膳活動の実施
- ・給食室との連携

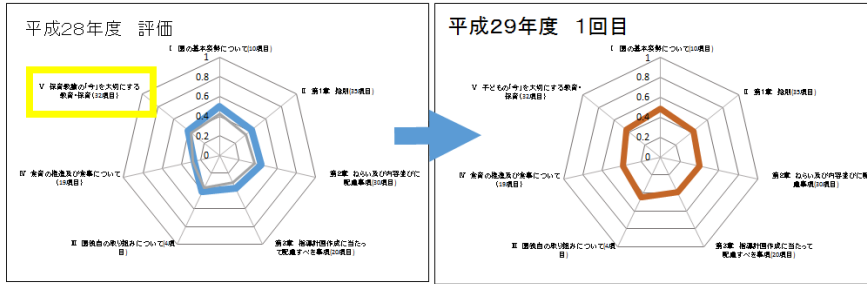
**1人ひとりの意識の変化**が見られたが、増築による給食業者委託により数値が一時的に下がる時期もあり、全体の結果としてはさほど改善の数値は見られなかった

## 来年度(H30年度)食育の課題点

- ・園児と給食室のつながり
- ・食事マナーについての見直し(物的環境も含め)
- ・保育教諭と給食室の連携
- ・「楽しい食事」の継続的実践(各年齢ごと)

## 子どもの「今」を大切にする教育・保育の課題点

- ・職員間の連携(保育と給食室)
- ・食育計画の見直し
- ・子どもの発達年齢に合った「食育」活動の実践
- ・職員自身の研鑽



## 子どもの「今」を大切にする教育・保育の具体的な取り組み

- ・一人ひとりと丁寧な関わり
- ・触れ合い遊びやスキンシップを通じた愛着・信頼関係づくり

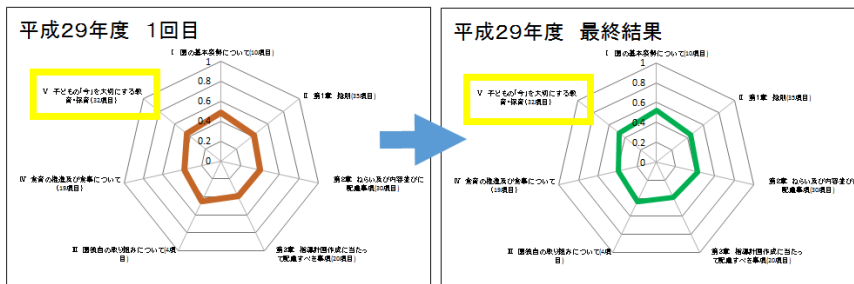
取り組みを行ったが実態としては...

- ・個よりも全体を優先した保育の実施
- ・先回りの声掛けや援助が多い
- ・日々の行事や日常保育に追われる(計画性の欠如)
- ・心のゆとり欠ける

## 保育教諭側の思いが強い保育の実施

### 今後の課題

- ・一人ひとりに沿った丁寧な関わりと遊び込み
- ・職員間の連携と共通理解
- ・信頼関係の構築(触れ合い遊び、スキンシップ、1分間コミュニケーション)



## 子どもの「今」を大切にする教育・保育の具体的な取り組み

- ・遊び込むことを再認識する
- ・一人ひとりの発達に合わせた関わりや対応
- ・遊びの環境の見直し(充実化を図る)
- ・子ども発信に「共感」「認め」「一緒に」を大切にする
- ・コミュニケーション、スキンシップをより大切にする(子ども、保護者)

**園全体として数値は上がったが**

まだまだ子どもの「今」を大切に保育、「心」に寄り添った保育が十分ではないため継続、質の向上に努める事は必要である。

## 来年度(H30年度)子どもの「今」を大切にする教育・保育の課題点

- ・各年齢ごとの発達過程をきちんとおさえる
- ・物的、人的環境の見直し
- ・子どもの心に寄り添った保育(対応、関わり)
- ・自分自身の保育についての振り返り→職員同士で保育を見合う